＜約款変更のお知らせ＞

2013年11月25日付：
委託者が受益者に対して行う公告を原則として電子公告による方法とするため、所要の変更を行いました。

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にロシア連邦（以下、「ロシア」といいます。）の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	ベビーファンド	ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式（ＡＤＲ、ＧＤＲ等を含みます。）に投資を行います。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年１回の決算時（毎年3月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

HSBC ロシア オープン

第７期　運用報告書
（決算日　2014年3月17日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＨＳＢＣ ロシア オープン」は、去る2014年3月17日に第７期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ＨＳＢＣ投信株式会社
東京都中央区日本橋3-11-1 ＨＳＢＣビルディング
お問い合わせ先（クライアントサービス本部）
電話番号：03-3548-5690（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp

HSBC
Global Asset Management

◎最近５期の運用実績

決算期	基準価額（分配落）			ＭＳＣＩロシア１０／４０指数（円ベース）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		税込み分配金	期中騰落率	(ベンチマーク)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
第3期（2010年3月15日）	6,919	0	141.2	7,409	138.5	99.1	－	22,031
第4期（2011年3月15日）	7,537	0	8.9	8,338	12.5	99.3	－	20,777
第5期（2012年3月15日）	6,602	0	△ 12.4	7,857	△ 5.8	98.9	－	16,350
第6期（2013年3月15日）	6,589	0	△ 0.2	8,054	2.5	98.3	－	13,749
第7期（2014年3月17日）	4,990	0	△ 24.3	6,159	△ 23.5	94.4	－	7,460

（注１）基準価額の期中騰落率は分配金込み。
（注２）ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。以下同じ。
（注３）当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
（注４）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

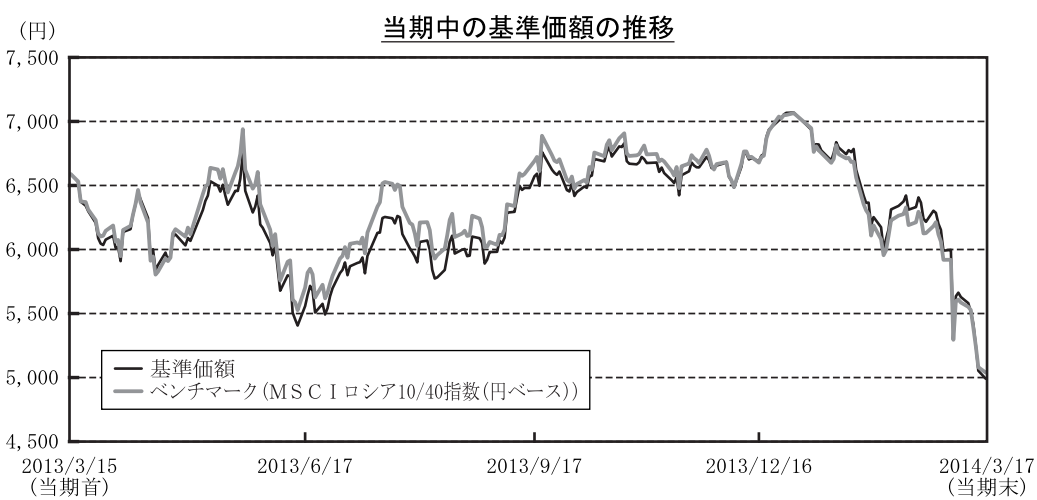
年月日	基準価額		ＭＳＣＩロシア１０／４０指数（円ベース）		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
（期首）	円	%		%	%	%
2013年 3月15日	6,589	－	8,054	－	98.3	－
3月末	6,077	△ 7.8	7,513	△ 6.7	94.6	－
4月末	6,032	△ 8.5	7,457	△ 7.4	98.7	－
5月末	6,170	△ 6.4	7,707	△ 4.3	98.9	－
6月末	5,697	△13.5	7,083	△12.1	98.8	－
7月末	5,945	△ 9.8	7,486	△ 7.1	99.2	－
8月末	5,980	△ 9.2	7,407	△ 8.0	98.6	－
9月末	6,464	△ 1.9	7,999	△ 0.7	98.4	－
10月末	6,706	1.8	8,327	3.4	99.1	－
11月末	6,655	1.0	8,150	1.2	100.3	－
12月末	7,069	7.3	8,636	7.2	99.4	－
2014年 1月末	6,253	△ 5.1	7,565	△ 6.1	99.2	－
2月末	5,991	△ 9.1	7,236	△10.2	99.5	－
（期末）						
2014年 3月17日	4,990	△24.3	6,159	△23.5	94.4	－

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
（注３）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

＊ＭＳＣＩロシア10／40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるＭＳＣＩロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、ＭＳＣＩ社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はＭＳＣＩ社に帰属します。また、ＭＳＣＩ社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託者が円換算した数値を使用しています。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。



(注) ベンチマークは当期首の基準価額 (6,589円) と同一になるよう指数化しています。

１．基準価額の推移

基準価額は24.3%の下落

基準価額は当期首の6,589円から当期末は4,990円となり、1,599円の値下がり（－24.3%）となりました。

期首（前期末）	期中高値	期中安値	期末
2013年3月15日	2013年12月30日	2014年3月17日	2014年3月17日
6,589円	7,069円	4,990円	4,990円

一方、ベンチマークであるＭＳＣＩロシア10／40指数（円ベース）の当期中の騰落率は－23.5%でした。なお、通貨ルーブル／円の為替レートは、約11.5%のルーブル安（円高）となりました。

２．当期中（2013年3月16日～2014年3月17日）の主な変動要因

（下落）2013年3月下旬：
①ロシアとの関係が深いキプロスの金融救済を巡る混乱。
②欧州の景気低迷などによる原油価格（ブレント原油）の大幅下落。

（上昇）4月上旬：
日銀の大胆な金融緩和策に伴う円安進行。

（下落）4月中旬：
中国や米国の景気鈍化懸念。

（上昇）5月上旬：
①欧州中央銀行（ＥＣＢ）が、景気下支えのため、10ヶ月振りに利下げに踏み切ったこと（政策金利を0.25%引き下げ0.5%）。
②4月の米国の非農業部門の雇用者数の増加が前月比で市場予想を大幅に上回ったこと。

（下落）5月中旬～6月中旬：
①国内の景気減速感やインフレ指標の悪化。
②米国の量的緩和策の早期縮小懸念や欧州の景気低迷。
③中国の短期金融市場における資金需給のひっ迫。

（上昇）6月下旬～7月中旬：
①原油価格が米国の緩やかな景気回復やエジプトの政情不安などから上昇したこと。
②米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のバーナンキ議長が「予見できる将来において高度に緩和的な金融政策が米経済には必要」とハト派（景気重視）的な発言をしたこと。

（下落）7月下旬～8月上旬：
①ロシアの4-6月期の実質国内総生産（ＧＤＰ）成長率が前年同期比で2四半期連続し＋1%台の低水準にとどまったこと。
②米国の量的緩和の早期縮小懸念の再燃。

（上昇）8月中旬～9月中旬：
①国内のインフレ抑制のため、政府が電力・ガスおよび公共交通機関の料金引き上げ計画を2014年末まで凍結したこと。
②中国の主要経済指標が改善を示したこと。

（上昇）10月中旬：
米国で上下院が債務上限引き上げ・暫定予算案を可決したこと。

（上昇）12月中旬：
海外からの人権批判に配慮したプーチン大統領よる恩赦（脱税、横領などで投獄されていた元石油大手ユコス社長のホドルコフスキー氏、「反プーチン政権」の楽曲を演奏したため服役していた女性パンクバンドのメンバー、油田開発への抗議活動を行った国際的な環境保護団体グリーンピースの活動家などを含む2万人に恩赦）。
（下落）2014年1月中旬～下旬：
①米国の量的緩和縮小の開始。
②アルゼンチンペソ急落を契機としたロシアを含めた新興国通貨の大幅下落。
（下落）2月下旬～3月中旬：
ロシア隣国ウクライナ情勢の悪化（親欧米派勢力による政変に伴う、親ロシア派のヤヌコビッチ政権の崩壊（2月下旬）、ロシアのウクライナ南端クリミア半島への軍事展開（3月上旬））。

当ファンドとベンチマークとの差異の説明

＜プラスに寄与した主な要因＞

セクター戦略

・資本財および通信セクターのオーバーウェイト
・公益セクターのアンダーウェイト

個別銘柄選択

・チェルキゾヴォ（食肉加工）、ガスプロム・ネフチ（石油）、モスクワ証券取引所、ノルド・ゴールド（金生産）のオーバーウェイト

＜マイナスに寄与した主な要因＞

セクター戦略

・金融および素材セクターのオーバーウェイト

個別銘柄選択

・ＵＣルサール（アルミニウム大手）、ロシア連邦送電公社のオーバーウェイト
・マグニト（スーパー大手）のアンダーウェイト

３．ポートフォリオ

＜株式組入比率＞

主要投資対象であるＨＳＢＣ ロシア マザーファンド受益証券を、当期を通じて高位に組み入れ、当期末の実質的な株式組入比率は94.4％でした。

＜当期中の主な動き＞

2013年3月に、国内石油最大手ロスネフチの組入比率を引き下げました。ロスネフチは同月にＴＮＫ-ＢＰを大株主である世界メジャーのＢＰから買収しましたが、ロスネフチはＴＮＫ-ＢＰの少数株主からは株式の買い取りを行わなかったことから、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の観点から問題が残る買収となりました。

4月には、成長性とバリュエーションの観点から、ノボリペック製鉄をポートフォリオから外し、鉄鋼大手セヴェルスターリの組入比率を引き上げました。

5月に、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（ＭＳＣＩ）が、当ファンドのベンチマークであるＭＳＣＩ ロシア10/40 指数を構成するスーパー大手マグニトの組入比率を引き上げたこともあ

り、当ファンドも同社株の比率を引き上げました。また、ＭＳＣＩが同じく通信大手モバイル・テレシステムズの組入比率を引き下げたこともあり、当ファンドも同社株の比率を引き下げました。一方、成長性とバリュエーションの観点から、配電大手ロシアン・グリッズ（旧ＩＤＧＣホールディング）をポートフォリオから外しました。

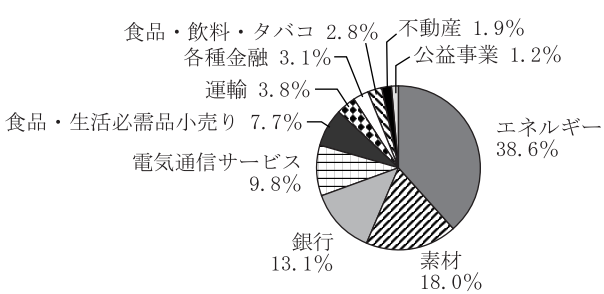
7月には、通信大手モバイル・テレシステムズ、エネルギーのスルグトネフテガスおよびタトネフチを一部利益確定の売却を行うとともに、成長性とバリュエーションの観点から、不動産大手ＬＳＲを新たに組み入れ、またモスクワ証券取引所の組入比率を引き上げました。

9月に、ノボリペック製鉄の組入比率を引き上げました。直近の下落傾向を受けてバリュエーション面で割安感が出てきたこと、また鋼材価格が値下がりしても低コスト体質により、同業他社と違い利益を確保できる見通しであることなどがその理由です。一方、金価格が下落する中、生産コストが嵩んでいることなどから、金生産のノルド・ゴールドを全株売却しました。

10月には、ロスネフチの一部を利益確定の売却を行い、組入比率を引き下げました。一方、ロステレコムとマグニトの比率を引き上げました。

11月に、石油会社ＲＮホールディング(旧ＴＮＫ-ＢＰ)株を全て売却しました。2013年3月のロスネフチによるＴＮＫ-ＢＰ社買収後、未定であった少数株主保有分の取り扱いについて、9月にロスネフチは株の買い取りを提案しました。11月からロスネフチによる公開買付けが開始され、市場価格を上回る買付価格が提示されたことから、この機を捉え、同社株を全株売却しました。また、直近、大幅上昇した通信大手システマ株の一部を売却し、利益を確定しました。一方、ノボリペック製鉄、アエロフロート、ロステレコムの組入比率を引き上げました。

当期末（2014年3月17日）の業種別組入比率



＊１上記の比率はマザーファンドにおける株式等評価額に対する各業種の比率（上位以外はその他で合算しています。）です。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
＊２業種分類につきましては、世界産業分類基準（ＧＩＣＳ®）に基づいています。

（注）ロシアの企業（ロシア以外の国の企業を含みます。）の発行する株式につきましては、流動性等を勘案して、ＡＤＲ、ＧＤＲ等を中心に投資を行っています。

４．収益分配金について

当期につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、分配金なしとさせて頂きました。留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

５．今後の投資環境と運用方針

＜投資環境＞

2014年3月に入り、ロシアは、ロシア系住民の保護を目的として、ウクライナ南端クリミア半島への軍事展開を実施したため、投資家センチメントが大幅に悪化、3月3日のロシア株式市場・ルーブル相場は、外国人投資家を中心に売りが加速し、取引開始直後から急落しました。このため、同日、ロシア中央銀行は緊急の金融政策決定会合を開催、急激な資本流出に歯止めをかけるため、政策金利である1週間物貸出金利を5.5％から7.0％に引き上げました。加えて、中央銀行は通貨防衛のため、110～120億米ドルの大規模な米ドル売り・ルーブル買いの為替介入を実施した模様です。

その後、プーチン大統領は、クリミア自治共和国の住民投票（3月16日実施）でロシアへの編入を圧倒的多数が賛成と3月18日に表明し、直ちにクリミア自治共和国および特別市セバストポリの代表らと、編入の条約に調印しました。これを受けて、議会下院で20日、上院で21日、クリミア編入条約が批准されました。この結果、ロシアでは2015年1月1日までにクリミアおよびセバストポリを正式に併合する手順が整えられました。

ロシアはクリミアの編入に踏み切り、ウクライナ情勢は新たな場面を迎えることとなりました。但し、プーチン大統領の発言などから、これ以上のウクライナの分割やロシア軍のウクライナ東部への展開は予想し難いと当社は考えます。

ロシア側は、ウクライナ情勢のこれ以上の悪化を回避するため、米国と欧州連合（ＥＵ）に対し、ロシアとの3者協議「ウクライナ支援連絡グループ」の創設を提案しました（3月17日）。ロシア側の説明によれば、同連絡グループにおいて、ウクライナ問題の解決に向けて、①同国の政変前（2月21日）の与野党合意の履行および過激派の武装解除、②新憲法制定、③改憲後の大統領選・議会選・知事選などの実施、④クリミア住民投票の結果承認などを目指すとしています。

一方、米欧やロシアなどが加盟する欧州安保協力機構（ＯＳＣＥ）は、ウクライナ情勢の緊張緩和のため、国際監視団を派遣することで3月21日に合意しました。

このように、ウクライナ情勢は一部改善の兆しも窺われますが、依然、不透明感が残ることから、当面、ロシア株式市場およびルーブル相場は不安定な動きになるものと考えます。また、米国の量的緩和縮小の動向や中国など主要新興国の景気の行方などを巡る投資家センチメントの揺れ動きも市場のマイナス要因になる可能性もあります。

但し、最近の大幅下落を受けて、ロシア株式市場はバリュエーション面で割安感が強まっており、ウクライナ情勢が落ち着けば、米国などを中心とした世界経済の回復を背景に、ロシア株式は見直されることが期待されます。

＜運用方針＞

当ファンドは、高い収益性が見込まれながらもバリュエーション面で割安感が強い銘柄に投資する戦略です。現在、エネルギー、金融セクターやベースメタル関連株、化学肥料株をベンチマーク対比でオーバーウェイトとする一方、公益セクターをアンダーウェイトとしています。

但し、今後、バリュエーションの相対比較により、セクターのウェイト変更を行うこともあります。

◎１万口当たりの費用明細

項　　目	当　期
(a) 信託報酬	129円
(投信会社)	(76)
(販売会社)	(46)
(受託銀行)	(7)
(b) 売買委託手数料	10
(株式)	(10)
(c) 保管費用等	18
合　計	157

（注１）当期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 信託報酬＝当期中の平均基準価額×信託報酬率
(b) 売買委託手数料、(c)保管費用等は、当期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
（注２）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）(b) 売買委託手数料および(c)保管費用等は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド	875,501	600,830	6,326,046	4,717,719

（注）単位未満は切捨て。

◎親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

項　　目	当　期
	ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド
(a) 当期中の株式売買金額	12,029,436千円
(b) 当期中の平均組入株式時価総額	10,760,856千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.11

（注１）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

(1) 親投資信託における当期中の利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	3,978	－	－	8,050	6	0.1
為替直物取引	195	11	5.6	4,211	1,364	32.4

平均保有割合100.0%
※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。
（注）単位未満は切捨て。

(2) 当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	17,570千円
うち利害関係人への支払額 (B)	18千円
(B)／(A)	0.1%

（注１）利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（香港）、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。
（注２）売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注３）単位未満は切捨て。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2014年3月17日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド	18,353,989	12,903,444	7,569,160

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

2014年3月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド	7,569,160	99.2
コール・ローン等、その他	60,942	0.8
投資信託財産総額	7,630,102	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。

（注２）ＨＳＢＣ ロシア マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産（7,451,255千円）の投資信託財産総額（7,630,707千円）に対する比率は97.6％です。

（注３）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは１米ドル＝101.42円、１香港ドル＝13.06円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2014年3月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	**7,630,102,074円**
ＨＳＢＣ ロシアマザーファンド(評価額)	7,569,160,701
未収入金	60,941,373
(B) 負債	**169,831,580**
未払解約金	60,941,373
未払信託報酬	107,771,258
その他未払費用	1,118,949
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**7,460,270,494**
元本	14,949,678,364
次期繰越損益金	△ 7,489,407,870
(D) 受益権総口数	**14,949,678,364口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**4,990円**

◎損益の状況

当期　自2013年3月16日　至2014年3月17日

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	**△2,091,470,484円**
売買益	219,612,295
売買損	△2,311,082,779
(B) 信託報酬等	**△ 229,736,447**
(C) 当期損益金(Ａ＋Ｂ)	**△2,321,206,931**
(D) 前期繰越損益金	**△1,234,538,108**
(E) 追加信託差損益金	**△3,933,662,831**
(配当等相当額)	(118,456,580)
(売買損益相当額)	(△4,052,119,411)
(F) 計(Ｃ＋Ｄ＋Ｅ)	**△7,489,407,870**
(G) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	**△7,489,407,870**
追加信託差損益金	△3,933,662,831
(配当等相当額)	(119,059,204)
(売買損益相当額)	(△4,052,722,035)
分配準備積立金	302,804,885
繰越損益金	△3,858,549,924

〈注記事項（当運用報告書作成時点では監査未了です。）〉

（注１）当ファンドの期首元本額は20,866,135,336円、期中追加設定元本額は1,023,356,663円、期中一部解約元本額は6,939,813,635円です。

（注２）損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は当期末の評価換えによるものを含みます。

（注３）損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注４）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注５）計算期間末における費用控除後の配当等収益（89,589,487円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（119,059,204円）および分配準備積立金（213,215,398円）より分配対象収益は421,864,089円（10,000口当たり282円）ですが、当期に分配した金額はありません。

（注６）親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁している額は、49,925,317円です。

◎分配金のお知らせ

	第７期
１万口当たり分配金(税込み)	0円

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◎分配原資の内訳　（１万口当たり、税引前）

		第７期
当期分配金		0円
	当期の収益	－
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		282円

◆親投資信託「ＨＳＢＣ ロシア マザーファンド」の運用状況
第７期（2013年3月16日～2014年3月17日）

◎最近５期の運用実績

決算期	基準価額		ＭＳＣＩロシア１０／４０指数（円ベース）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率	(ベンチマーク)	期中騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
第3期（2010年3月15日）	7,472	145.5	7,409	138.5	98.2	－	22,245
第4期（2011年3月15日）	8,308	11.2	8,338	12.5	98.3	－	20,992
第5期（2012年3月15日）	7,434	△ 10.5	7,857	△ 5.8	98.0	－	16,492
第6期（2013年3月15日）	7,565	1.8	8,054	2.5	97.4	－	13,884
第7期（2014年3月17日）	5,866	△ 22.5	6,159	△ 23.5	93.1	－	7,569

（注１）ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。以下同じ。
（注２）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ＭＳＣＩロシア１０／４０指数（円ベース）		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2013年 3月15日	7,565	－	8,054	－	97.4	－
3月末	6,983	△ 7.7	7,513	△ 6.7	94.5	－
4月末	6,943	△ 8.2	7,457	△ 7.4	98.4	－
5月末	7,115	△ 5.9	7,707	△ 4.3	98.5	－
6月末	6,582	△13.0	7,083	△12.1	98.2	－
7月末	6,880	△ 9.1	7,486	△ 7.1	98.3	－
8月末	6,932	△ 8.4	7,407	△ 8.0	97.6	－
9月末	7,500	△ 0.9	7,999	△ 0.7	98.3	－
10月末	7,794	3.0	8,327	3.4	98.9	－
11月末	7,748	2.4	8,150	1.2	99.8	－
12月末	8,242	8.9	8,636	7.2	98.8	－
2014年 1月末	7,311	△ 3.4	7,565	△ 6.1	98.3	－
2月末	7,019	△ 7.2	7,236	△10.2	98.3	－
（期末）2014年 3月17日	5,866	△22.5	6,159	△23.5	93.1	－

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

◎１万口当たりの費用明細

項　　目	当　期
(a) 売買委託手数料 (株　　式)	12円 (12)
(b) 保管費用等	19
合　　計	31

（注１）(a) 売買委託手数料、(b) 保管費用等は、当期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
（注２）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◎当期中の売買及び取引の状況（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外国	米国	百株 78,180 (11,083,300)	千米ドル 39,490 (1,474)	百株 1,690,628	千米ドル 79,395
	香港	百株 －	千香港ドル －	百株 16,350	千香港ドル 4,519

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）単位未満は切捨て。
（注３）(　)内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

項　　目	当　期
(a) 当期中の株式売買金額	12,029,436千円
(b) 当期中の平均組入株式時価総額	10,760,856千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.11

（注１）(b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

◎当期中の主要な売買銘柄（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

株式

当				期			
買			付	売			付
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
(米国)	千株	千円	円	(米国)	千株	千円	円
MAGNIT	26	769,298	28,594	MAGNIT OJSC-SPON GDR REGS	207	1,267,759	6,100
LUKOIL-SPON ADR	93	585,280	6,230	OAO ROSNEFT OIL CO-GDR	1,100	793,503	720
MAGNIT OJSC-SPON GDR REGS	84	488,886	5,752	SISTEMA JSFC-REG S SPONS GDR	255	596,322	2,331
LSR GROUP OJSC-GDR REGS	898	392,343	436	VTB BANK OJSC-GDR	1,731	517,217	298
SEVERSTAL - GDR REG S	338	269,432	796	SBERBANK OF RUSSIA	1,577	500,833	317
SBERBANK OF RUSSIA	1,026	261,468	254	OAO GAZPROM-SPON ADR	598	496,796	830
SURGUTNEFTEGAS-PREFERENCE	3,211	238,992	74	MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	201	423,988	2,103
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS	1,113	226,118	203	TATNEFT-SPONSORED REGS GDR	103	380,478	3,690
OAO GAZPROM-SPON ADR	218	167,363	765	LUKOIL-SPON ADR	57	349,097	6,110
ROSTELECOM	449	160,584	357	NOVATEK OAO-SPONS GDR REG S	27	333,209	12,053

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2013年3月16日から2014年3月17日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	3,978	－	－	8,050	6	0.1
為替直物取引	195	11	5.6	4,211	1,364	32.4

（注）金額の単位未満は切捨て。

(2) 当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	17,570千円
うち利害関係人への支払額 (B)	18千円
(B)／(A)	0.1%

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（香港）、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

外国株式

2014年3月17日現在

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(米国)		百株	百株	千米ドル	千円	
GAZPROM NEFT-SPONSORED ADR		749	749	1,391	141,123	エネルギー
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR		3,347	1,473	2,353	238,742	電気通信サービス
LUKOIL-SPON ADR		1,076	1,444	7,438	754,397	エネルギー
ROSTELECOM		—	4,497	953	96,730	電気通信サービス
SURGUTNEFTEGAS-PREFERENCE		—	32,112	2,099	212,898	エネルギー
OAO GAZPROM-SPON ADR		15,039	11,243	7,407	751,262	エネルギー
AEROFLOT-RUSSIAN AIRLINE-CLS		10,516	11,107	1,417	143,748	運輸
SURGUTNEFTEGAZ-SP ADR		4,112	—	—	—	エネルギー
SISTEMA JSFC-REG S SPONS GDR		2,730	269	538	54,609	電気通信サービス
NOVATEK OAO-SPONS GDR REG S		566	323	3,226	327,255	エネルギー
RN HOLDING OAO		12,842	—	—	—	エネルギー
NOVOLIPET STEEL-GDR REG S		742	1,005	1,080	109,586	素材
JSC MMC NORILSK NICKEL-ADR		3,566	2,295	3,622	367,424	素材
MAGNIT		—	269	5,364	544,107	食品・生活必需品小売り
CHERKIZOVO GROUP-GDR REG S		2,200	1,864	1,939	196,682	食品・飲料・タバコ
OAO ROSNEFT OIL CO-GDR		16,356	5,598	3,510	356,000	エネルギー
URALKALI-SPON GDR		820	324	683	69,322	素材
TMK-GDR REG S		2,639	2,152	1,560	158,303	素材
SEVERSTAL - GDR REG S		3,132	5,094	3,125	316,995	素材
TATNEFT-SPONSORED REGS GDR		1,516	547	1,734	175,870	エネルギー
VTB BANK OJSC-GDR		24,144	6,830	1,139	115,555	銀行
VTB BANK OJSC		—	11,083,300	964	97,793	銀行
LSR GROUP OJSC-GDR REGS		—	6,418	1,311	132,997	素材
RUSHYDRO JSC		0.07	0.07	0.00009	0.009	公益事業
MAGNIT OJSC-SPON GDR REGS		1,228	—	—	—	食品・生活必需品小売り
GLOBALTRANS INVESTMENT PLC GDR		2,450	1,354	1,226	124,352	運輸
FEDERAL GRID CO UNIFIED-CLS		973,723	—	—	—	公益事業
JSC RUSSIAN GRIDS		622,075	—	—	—	公益事業
RUSHYDRO JSC ADR		6,142	6,142	866	87,835	公益事業
SBERBANK OF RUSSIA		41,434	35,922	6,980	707,998	銀行
PHOSAGRO OAO-GDR REG S		2,284	1,655	1,672	169,624	素材
NORD GOLD NV-REG S GDR		7,156	—	—	—	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS		6,160	15,952	2,155	218,582	各種金融
MEGAFON OAO-GDR		1,537	1,194	2,959	300,184	電気通信サービス
小計	株数・金額	1,770,294	11,241,146	68,724	6,969,988	
	銘柄数〈比率〉	29	28	—	〈92.1%〉	
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円	
UNITED CO RUSAL PLC		41,180	24,830	5,710	74,584	素材
小計	株数・金額	41,180	24,830	5,710	74,584	
	銘柄数〈比率〉	1	1	—	〈1.0%〉	
合計	株数・金額	1,811,474	11,265,976	—	7,044,573	
	銘柄数〈比率〉	30	29	—	〈93.1%〉	

（注１）邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注２）邦貨換算金額欄の〈　〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
（注３）株数・評価額の単位未満は切捨て。
（注４）－印は組入れなし。
（注５）業種等は、世界産業分類基準（ＧＩＣＳ®）に基づく業種名を採用しています。

◎投資信託財産の構成

2014年3月17日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
株式	7,044,573	92.3
コール・ローン等、その他	586,134	7.7
投資信託財産総額	7,630,707	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）当期末における外貨建資産（7,451,255千円）の投資信託財産総額（7,630,707千円）に対する比率は97.6%です。
（注３）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは１米ドル＝101.42円、１香港ドル＝13.06円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2014年3月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	7,630,707,534円
コール・ローン等	260,954,234
株式(評価額)	7,044,573,289
未収入金	325,179,864
未収利息	147
(B) 負債	60,941,373
未払解約金	60,941,373
(C) 純資産総額(A－B)	7,569,766,161
元本	12,903,444,769
次期繰越損益金	△ 5,333,678,608
(D) 受益権総口数	12,903,444,769口
１万口当たり基準価額(C／D)	5,866円

≪注記事項≫
※期首元本額　18,353,989,749円
　期中追加設定元本額　875,501,725円
　期中一部解約元本額　6,326,046,705円

※期末における元本の内訳
　ＨＳＢＣ ロシア オープン　12,903,444,769円

◎損益の状況

当期　自2013年3月16日　至2014年3月17日

項目	当期
(A) 配当等収益	378,316,608円
受取配当金	378,249,085
受取利息	67,523
(B) 有価証券売買損益	△2,547,367,839
売買益	1,068,024,137
売買損	△3,615,391,976
(C) 信託報酬等	△ 29,166,914
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△2,198,218,145
(E) 前期繰越損益金	△4,469,116,568
(F) 追加信託差損益金	△ 274,670,852
(G) 解約差損益金	1,608,326,957
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	△5,333,678,608
次期繰越損益金(H)	△5,333,678,608

（注１）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には保管費用等が含まれます。
（注３）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。